

令和6年度事業計画

京都府内に存する埋蔵文化財の調査、研究、保存、活用を行い、文化財の保護を図るとともに、文化財保護の普及啓発に努め、地域文化の発展に寄与することを目的に以下の諸事業を実施する。令和6年度の事業計画は、次のとおりである。

1 発掘調査受託事業

国・京都府等が実施する公共事業に伴う埋蔵文化財発掘調査を受託する。令和6年度は、別紙令和6年度発掘調査受託事業予定一覧のとおり、22件の発掘調査（道路建設関係13件、施設建設関係4件、ほ場整備関係2件、河川改修1件）が予定されている。そのうち市町村支援事業は1件である。

また、昨年度からの継続事業については、整理等作業を実施し、一部においては報告書の作成を行う予定である。これらの経費を合わせ1,301,546千円の事業を予定している。一方、平成29年度から継続して京都府教育委員会から委託事業として実施している京都の史跡・埋蔵文化財活用事業（普及啓発事業）及び出土文化財再整理事業を加えると受託事業の総額は1,305,000千円となる。

主要な事業として、近畿農政局の依頼を受けて実施する国営緊急農地再編整備事業「亀岡中部地区」として、亀岡市千代川町千代川遺跡や曾我部町與野遺跡などの発掘調査を継続する。また、同事業では、発掘調査が完了している法貴峠20号墳の整理等作業を継続するとともに報告書作成を行う予定である。一方、国土交通省近畿地方整備局福知山河川国道事務所の依頼を受けて実施する大宮峰山道路建設に伴う事業として、京丹後市カンジョガキ遺跡・老田遺跡・小中田古墳群・三分井根遺跡などの調査を実施する。さらに、継続調査として京都府建設交通部の依頼を受けて国道423号建設工事に伴う亀岡市法貴古墳群では、引き続き古墳時代後期の群集墳の調査を実施するほか、国土交通省近畿地方整備局京都国道事務所の依頼により井手寺跡の東隣接地で検出した塔跡の周辺で調査を実施する予定である。

一方、昨年度から実施している市町村支援事業として井手町多賀城跡の調査を計画している。

なお、発掘調査の結果は、遺跡調査報告集第196冊～199冊として刊行する予定である。

2 普及啓発事業

令和6年度の「埋蔵文化財セミナー」発掘調査成果展としての「発掘された京都の遺跡」「埋蔵文化財リーフレット」「京都の歴史体験教室」等は、引き続き京都府教育委員会からの委託事業として実施する予定である。

一方、従来から実施している機関誌『京都府埋蔵文化財情報』の刊行や出前授業ならびに全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロック「関西考古学の日」関係事業や共同研究等への取り組みは、継続して実施する。

- (1) **埋蔵文化財セミナー**（京都府教育委員会委託事業）
埋蔵文化財セミナーは、発掘調査成果の発表を通じて京都府の歴史の解明と文化財の保護に寄与するために年3回開催する予定である。
第1回は、令和6年8月開催予定
第2回は、令和6年11月開催予定
第3回は、令和7年2月開催予定
- (2) **機関誌**
当調査研究センター及び府内関係機関等の発掘調査状況の速報や当面する埋蔵文化財の調査、研究及び保護に資するために『京都府埋蔵文化財情報』を年2回刊行する（第147・148号）。
- (3) **埋蔵文化財リーフレット**（京都府教育委員会委託事業）
『もっと知りたい京都の遺跡』と題して、府内の発掘調査の成果を発信するリーフレットを年2回発行する。（第15号・第16号）
・A3版、二つ折り、カラー刷り
- (4) **出前講座・体験授業等**
京都府教育委員会、各教育局、市町村及び府内小・中学校、自治会などと連携して、出前講座や発掘調査体験授業、中学生の職場体験、夏休み考古学体験講座「勾玉をつくろう！」（京都府教育委員会委託事業）を通して積極的な文化財保護の啓発を行う。あわせて、ホームページやSNSなどで啓発事業の開催案内や活動報告を行う。
- (5) **「関西考古学の日2024」関連事業**
全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロックの加盟11法人が各種イベントを連携開催する「関西考古学の日」関連事業に参画するとともに、当調査研究センターにおいても京都の歴史を紹介する講座を開講する予定である。
- (6) **大中遺跡まつり（古代体験フェスティバル）での考古学体験ブース**
兵庫県立考古博物館が運営する大中遺跡まつり（古代体験フェスティバル）において考古学が体験できるブースを出展する。
- (7) **共同研究**
当調査研究センターにとって必要な調査研究を原則複数の職員が共同で行い、その研究成果を『京都府埋蔵文化財情報』に公表して、京都府における埋蔵文化財の保存と活用に資する。
- (8) **出土文化財再整理事業**（京都府教育委員会委託事業）
出土品の再整理を行い、公開・活用が可能な状態にする。

3 その他

(1) 専門研修

文化庁主催の講習会をはじめ全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会や同協議会近畿ブロックが主催する研修会などに参加する。また、独立行政法人奈良文化財研究所による専門研修にも参加し、職員の資質向上に取りくむ。また、公益財団法人公益法人協会が主催する会計セミナー等にも参加する。

(2) 一般研修

人権研修推進委員会が中心となっておこなう職場研修のほか、京都府教育庁行政、人権問題研修や公益財団法人世界人権問題研究センター開催の人権大学講座にも積極的に参加する。

(3) 遺跡検討会

大きな調査成果をあげ、報告書刊行に向けて整理作業が進む事業について、職員とともに理事及び関係機関の協力を得て、遺構・遺物の検討を行い、刊行予定の報告書に検討内容を反映させる。

(4) 講師派遣

京都府立大学からの講師派遣依頼により、集中講義「地域考古学Ⅰ・Ⅱ」を行い、土曜日に職員を交代で派遣する予定である。また、同志社大学、佛教大学、京都橘大学においても講師派遣依頼により職員を派遣する予定である。